

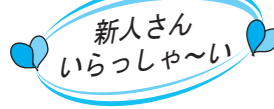
新しいシリーズが始まります！

●新人さんいらっしゃ〜い

W. Coは人が財産。新しい仲間たちを順番に紹介していきます。

W. Coの働き方を知り、将来のビジョンが持てました

(企) W. Coみらい理事 佐藤祐佳子さん (ベイセンター担当)



みらいは、一昨年に設立された配送W. Coです。中でも生活クラブの千葉・ベイ・佐倉センター管轄のランチは出来立てホヤホヤのランチで、その中でもとりわけ元気に活動されている2010年度新理事の佐藤さんにお話を伺ってきました。

■ W. Coとの出会いは…

チラシを見ていて、面白そうだなと思っていましたが、なかなか一歩踏み出せずにいました。子どもが1年生になったので趣味に時間を使っていたのですが、同じ時間を使うなら働きたいと思っていたところ、配達職員の誘われ軽いノリで説明会に参加しました。

■ 入ったきっかけは…

説明会で風間由加さんに会い、W. Coの説明を聞いて希望を持てたことがきっかけです。特に雇われない働き方というところが良かったので、みらいで働くことに決めました。そもそも、雇われるという考えは自分にはなく、自分が経営したいと思っていましたが、資本や子育て中ということを考えてと現状では難しいことでした。子どもの幼稚園のママ仲間には、保育士などの資格を持っている人がたくさんいますが、現在の社会状況や環境を考えると働けない、一歩踏み出せないのが現実です。仲間を集めて託児をする場など、自分たちのコミュニティの場を作りたいという思いがあり、W. Coの働き方はまさにその思いに当てはまると思いました。そういった意味では、配送事業ということはあるとあつげです(笑)。しかし、今では生活クラブの請負事業ということもあり将来性がある安定した職場だと思っています。

■ なぜW. Coを選んだのですか…

社会状況は今、雇用に対しての不安が増大しています。今

新しいW. Coやワーカーズのメンバーが続々と増えています。

の環境で働くとしたらパート等になるとは思いますが、それではいつ首を切られてもおかしくない状況です。W. Coを知って平等に参画できる場・働き方の形があることを知り、将来にやっとビジョンが持てるようになりました。まだ仕事は始まっていませんが、面白そうだという事は実感しています。



■ 入ってみてどうですか。

思っていたより馴染めました。説明会のチラシを見ただけだと、責任が重そうで、家族に負担をかけそうな感じがしていました。しかし、思っていた責任の重さなどは日常生活にもあることで、今の生活にも馴染んで来ています。重たいものがのしかかる感じではありません。チラシだけを見て躊躇している人がいるかも知れませんが、一度来てみればイメージが変わると思います。そういう思いの延長線上で今年度理事も受けました。

一歩を踏み出して説明会に行ってみれば夢や希望が持てると思います。今では、より多くの方に説明会に来てほしいと思っています。

インタビュー 広報部

- 趣味は
絵を描くこととスポーツはなんでもやります。今はサーフィンとジョギングかな
- 出身地
東京の杉並です。生活クラブ生協歴は、子どもの時から2世です
- 血液型は A型
- 生まれ年 1972年
- W. Coに期待することは
仕事の充実と家族との生活の充実です

●うちのW. Coすごいでしょ

各事業所の近況報告やそこに关わるエピソード等を掲載していきます。



● W. Coういず

ボックス形式の手づくり品委託販売の店として04年に起業した「ういず」には、延べ200組を超える出品登録者がいました。地域コンサート・朗読会・講座などに多くの利用もありました。しかし事業性は極めて低く、家賃等の固定費負担で人件費も出ない活動に行き詰まっていた。ところが3年前の夏、お客様から「我が家を事務所に使ってくれないか」との申し出がありました。突然のことに驚きながらお宅に伺うと、今どきめずらしい縁側のある純和風の家でした。家賃も格安で、



民家ギャラリー結

大家さんも「ういず」のメンバーになるとの申し出もあり、一目で移転を決めました。即断でした。

ボックスギャラリー時代の委託販売形式から場所貸しへと変化していき、現在「結」では、作り手本人が販売する形式の展示会を年4回開催しています。また、健康麻雀教室・太極拳・

■ 民家ギャラリー結のこころみ

茶会・一緒に歌いましょう・占い教室などの講座も、先生が教える教室から生涯学習型の「皆で時間を共有し、おしゃべりを楽しむ」目的のものに変えました。すると不思議に人の繋がりが横に広がっていきました。お互い先生になったり生徒になったり、常連さん同士で連帯感や仲間意識も育ちました。「結」を支えなければ『潰れる』との危機感もあるのかもしれませんが、皆さんが協力して下さいます。ありがたいことです。

「結」もその思いに添いたいと思っています。昨年、高齢者の居場所事業と評価され、県から星数事業拡充資金として助成金をいただきました。経営は今も苦しいのですが日々新たな出会いがあり、皆さんに育てられている「結」を私自身も楽しんでいます。「結」は私の居場所になりました。これからも地域みんなの居場所となり、人を繋ぎ、一人一人が元気の出ることを仕掛けていきたいと思っています。



高齢者で賑わう「結」

W. Coういず 北田恵子

■ メンバーが増えました

● (企) W. Coハーブ

1988年に12人のメンバーで始まったハーブ。大勢の人に支えられ、幼稚園給食を作るようになってからはアルバイトを含めて15人以上の大所帯になっていました。それぞれハーブとの出会いはさまざま。出産後、ハーブのお弁当を利用して人、子どもの給食を通して興味を持った人、組合員活動の仲間からの紹介、などなど…。設立からのメンバーは1人になってしまいましたが、みんなで頑張ってきました。



ただ、アルバイトという立場から、出資して経営に関わるとい正式なメンバーへの目に見えないハードルは高く、かといって、小数のメンバーでの運営には限界が。そこで昨年11月、「働く人=メンバー」との考えを、皆で確認し合い、このたびメンバー19人での新たなスタートをきりました。

大人数の運営は不慣れな点も多く、課題は山積み。役割分担も試行錯誤の最中です。少々強引な決定でしたが、早速才能を発揮して見違えるように整理整頓を始める人、ミーティングで発言、提案する人など、皆少しずつ前向きに捉え、職場の雰囲気も変わりつつあります。

責任がある分、やりがいや楽しさが増えるように、そしてお客様に「おいしくなった、利用しやすくなった、ハーブってすごいでしょ!」と言ってもらえるよう「がんばろー!」

(企) W. Coハーブ 奈良収子

● (企) W. Coウィンディスープ

1998年の設立以来12年、多い時には12人いたワーカーズ。高齢化、家庭の事情などで減り続け、2006年からは4人、そして3人となり、心細いながらもなんとか頑張ってきました。会議のたびにアルバイトの若い人に、ワーカーズの良いところを(やりがいというか大変な?ところも正直に)説明し、「なってなって」と言い続け…、やっとワーカーズが増えました。一気に3人が10人に! 出資金、働く時間などは考慮しました。でも同じ志で働くメンバーが増えたのは本当にうれしいことです。



早速メニューの作成、お知らせチラシの作成など役割分担し、それぞれの得意分野で力を発揮してもらっています。働きにくい時間帯があったり、子どもの学校が一緒で行事があったりするとお休みが重なり、困ったこともありますが、「年長」のメンバーがサポートして、働き続けられる職場をつくっていきたいと思います。

食材の値上げ、売上げの減少など厳しい状況が続いていますが、「ウィンディスープのお弁当・お惣菜は安心でおいしいね」というファンのためにも、働く私たち自身のためにも、新しいメンバーがスキルアップして若い力を発揮していただけることを期待しています。

(企) W. Coウィンディスープ 山岸和子

W. Coのとおきレシピ recipe

卵コロッケ

ウィンディスープ編

〜ミックスチーズとクリームコーンがトロリ、卵とキャベツが春色のコロッケです〜

【40gのコロッケ 10個くらい】

- 卵 3個、フライ用に1個
- クリームコーン缶 3分の1
- ミックスチーズ 90グラム
- キャベツ 8分の1
- 小麦粉、パン粉、塩、コショウ
- なたね油



- (1) 卵は固ゆでにして、卵切りで縦横にカットする。
- (2) キャベツは小さめのざく切りにして塩をして、水を絞る。
- (3) カットした卵、キャベツ、クリームコーン、ミックスチーズを混ぜ、小麦粉大さじ1、塩、コショウを入れ、よく混ぜる。
- (4) 形(ちょっとやわらかくてべとべとする)を作り、小麦粉、卵、パン粉をつけ、180℃の油でカラリと揚げる。